小学校　第５学年　（総合的な学習の時間）学習指導案　例

１　単元名　DIG（災害図上訓練）学習

　　　準備物：校区地図、シール、ふせん、マジックペン、校区の写真

２　本時について

（１）ねらい

　　DIG学習を通して、自分たちの住んでいる地域で起こる災害やどのように命を守るかについて考えることができるようにする。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 子どもの活動 | 教師の支援 | 備考 |
| １　過去に起こった大地震の写真を見て、自分たちの住んでいる地域で地震が起きたら、どのようなことが起こりうるのか考える。  自分たちの住んでいる地域で起こる災害や安全な避難について考えよう。  ２　校区の地図を見て、自宅の位置や危険な場所、安全な場所の情報を読み取る。  ・自宅にシールを貼る。  ・地震が起きたら、危ない場所や起こりうる事を書きこむ。（赤ペン）  ・地震が起きたら、避難できる場所や安全な場所を書きこむ。（緑ペン）  ３　地図を囲んで話しあい、出てきた意見や気がついたことを発表し、自分の考えを友達と共有する。  ４　DIGを通して感じたことや思ったこと、考えたことを発表し、本時の学習をまとめる。  ・発災時刻、発災場所によって、そのときどう行動するのかを考え、ふりかえる。  ・今後、地震が起こったときに自分の命を守る方法を考える。 | ・阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震の写真やそれぞれの地震で起こったことを提示し、災害をイメージしやすいようにする。  ・自分の住んでいるまちの写真（子ども達がよく目にする場所）を提示しながら、目印になる場所にシールを貼ることで、地図とマッチングしやすくする。  ・グループの友だちと相談するように促し、考えたことを表現しやすいようにする。  ・多様な意見を尊重するとともに似た考えを集約するように声をかけて、グループごとに出てきた意見をまとめられるようにする。  ・他のグループや友だちの考えに触れることで、考えの幅を広げ、自分たちが住んでいる地域の災害の特色や命を守るためにどのように行動すれば良いのかを考えることができるようにする。 | ・実際に被災した児童が在籍しないかを確認しておく。  ・写真を準備する。  （校舎、体育館、歩道橋、保育所、公民館など） |